

4. 親子のコミュニケーション編①<子どものいいところ>

① 子どものいいところ み~つけた!!

《ねらい》

○わが子の気になる点も、見方を変えると長所であることに気づき、わが子の良さを再発見する。

《準備物》

- ファシリテーター：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 普段、お子さんの良くない面が目について、ついつい小言を言ってしまうことはありませんか。今日はお子さんのいいところを探して、言葉のプレゼントをしてあげましょう。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・わが子のいいところ ・わが子の気になるところ (ワーク1)	4. 普段のお子さんとの関わりの中で長所や短所と感じていることを ワーク1 に書き出してみましょう。	・日常の場面から探してみるようにする。
	15	5. グループで話し合う。 ・見方を変える (ワーク2)	5. お子さんの長所と短所を紹介してみましょう。短所と感じているところも見方を変えると変わることもありますので、紹介の後、グループのみなさんで、それぞれ短所と感じていることを見方を変えて、肯定的な言葉で言い換えて ワーク2 に記入してみましょう。	・言い換えの例をあげる。 〈例〉「落ち着きがない」→「いろいろなものに興味・関心がある」など
	10	6. グループごとに発表する。	6. グループではどのような意見が出てきましたか。出た意見を発表してください。	・抽出グループでの発表も可。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたこと、感じたことをワークシートにまとめましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。普段、短所ととらえていることでも、見方を変えると長所につながることに気づきましたか。よいところやできていることをしっかりと認めてあげたり言葉にしてあげたりすることで子どもの自信につながります。		

① 子どものいいところ みつけた！

子どものいいところに比べ、気になるところは目につきやすいもの。日々の生活の中でも、気になるところを注意することが多くなり、子どもたちもがっかりしていませんか。「短所」と「長所」は表裏一体です。親が見方を少し変えることで、子どもの可能性が広がるのであれば、取り組む価値はありそうですね。

わが子の日頃から気になるところを、見方を変えて、グループで言い換えてみましょう。



ワーク1 どんな子どもに成長してほしいか考えてみましょう。

わが子のいいところ

わが子の気になるところ

ワーク2 気になるところを見方を変えてみましょう。

例) 落ち着きがない → 活動的

ふりかえり



令和6年度鳥取県子育て
家庭教育支援関係者研修
会講義資料より
「リフレーミングの例」



こども家庭庁
「我が国と諸外国のこども
と若者の意識に関する
調査」

4. 親子のコミュニケーション編①<子どものいいところ>

② うちの子、お手伝いできるモン

《ねらい》

○お手伝いは、子どもの自主性や自尊感情を育てる。そこで、お手伝いの様子を情報交換しながら、子どもが進んでお手伝いできる方法について考える。

《準備物》

- ファシリテーター：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、家庭でのお手伝いやお子さんの様子を話しながら、本当はさせたいお手伝いや、進んで楽しくお手伝いさせる工夫について考えてみましょう。その前に、心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・最近のお手伝い (ワーク1)	4. 最近してくれるようになったお手伝いを ワーク1 に記入しましょう。	
	15	5. グループで話し合う。 ・手伝ってほしいお手伝いベスト3 (ワーク2) ・進んでお手伝いできるようになるための工夫 (ワーク3)	5. 各家庭のお手伝いについて紹介し合ひましょう。 ・その後、子どもに手伝ってもらいたいお手伝いベスト3をグループで話し合い ワーク2 に記入しましょう。 ・子どもが進んでお手伝いできるようになるための工夫について話し合い ワーク3 に記入しましょう。	
	10	6. グループごとに発表する。	6. どんなお手伝いがベスト3になりましたか。その理由と進んでお手伝いできるようになるための工夫を発表しましょう。	・抽出グループでも可。 ・1位のみ理由を発表する。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって感じたこと、気づいたことをワークシートにまとめましょう。	
	10	8. まとめ 今日は、各ご家庭のお手伝いについて、意見交換していただきました。お手伝いできることが増えると、子どもの成長を感じますね。感謝の言葉を伝えることによって、子どもは「誰かの役に立てる」と感じます。これは、子どもの成長にとっても大切なことです。「またやってみよう」と思えるような工夫をして、お手伝いを増やしていきましょう。		

② うちの子、お手伝いできるモン

みなさんは、家事に育児に多忙な毎日を送っていると思います。そんな中、子どもがお手伝いをしてくれるとうれしいですね。

今日は、最近してくれるようになったわが子のお手伝いを、子どもの成長を確認しつつ、その様子を話してみましよう。



ワーク1 最近してくれるようになったお手伝いを書いてみましょう。

お手伝いの内容や子どもの様子	きっかけ	かけたほめ言葉

ワーク2 子どもに手伝ってほしいことベスト3！

1位

理由

2位

理由

3位

理由

ワーク3 進んでお手伝いができるようになるための工夫

ふりかえり



鳥取県教育委員会
「小学生スタートブック」